MITSUBISHI

1112871HD7502

ロスナイ用システム部材
セパレート給排気フランジセット

形　名

P-100FQH
P-130FQH

据付・取扱説明書

このセパレート給排気フランジセットは、ダクト用ロスナイ本体から離れたところ、または、隣の部屋へ分散給排気をするために使用するダクト接続用のフランジです。

■取付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■取付けは販売店・工事店様が実施してください。間違った取付けは、故障や事故の原因になります。
（お客様ご自身での取付けは、故障の原因になります）
●野縁に取付ける場合の配管は、フランジがスライドできるよう断熱フレキシブルダクトを必ず使用してください。
(他の配管ですと本体の取付けができなくなる場合があります）

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

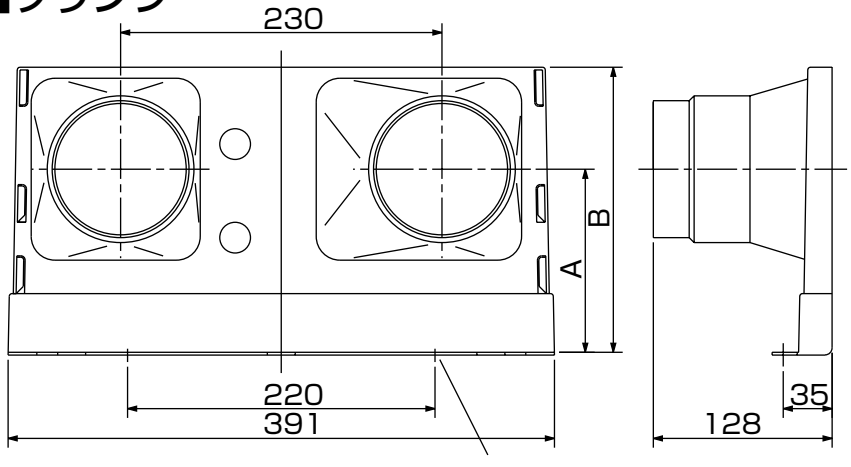
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

指示に従い必ず行う

●取付けの際、手袋を着用する
（端面などでけがをする原因）

外形寸法図

■フランジ

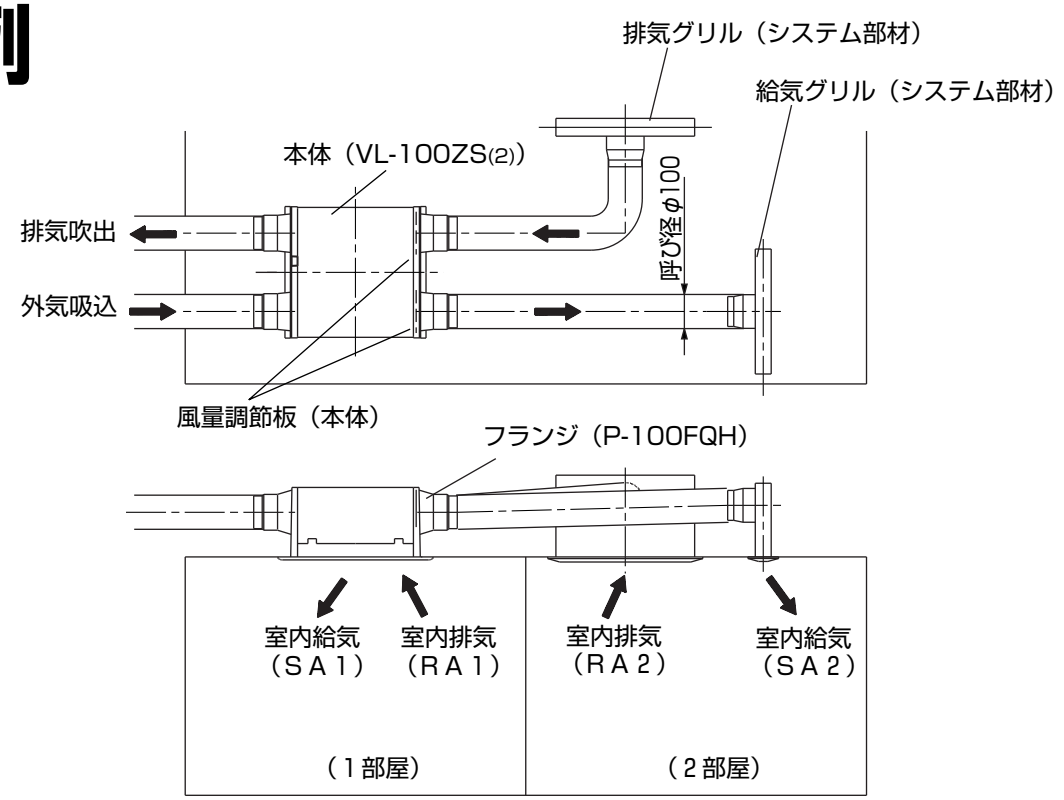


■変化寸法表

形　名	A	B
P-100FQH	131	204
P-130FQH	220	293

単位（mm）

取付例

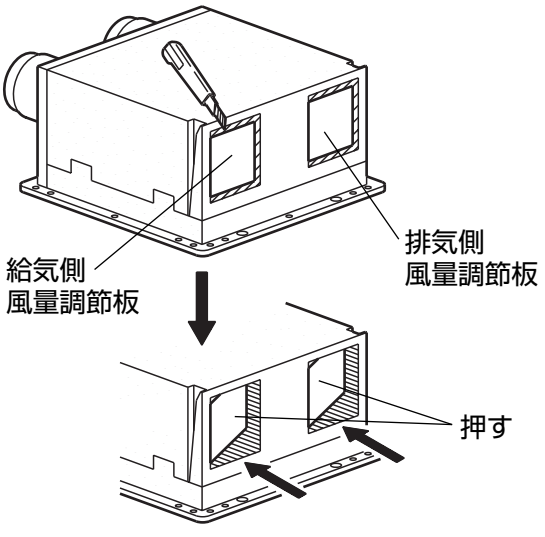


適用機種・パイプ径と付属部品

形名	適用機種	パイプ径	付属部品
P-100FQH	VL-100ZS(2) VL-100ZSK(2)(-BR)	φ100	木ネジ……2本
P-130FQH	VL-130ZS(2) VL-130ZSK(2)(-BR) VL-150ZS(2) VL-150ZSK(2)		

取付方法

❶ 風量調節板に切り込みを入れる



1. 本体側面の給気側および排気側の風量調節板3辺にカッターナイフで切り込みを入れる。

お願い

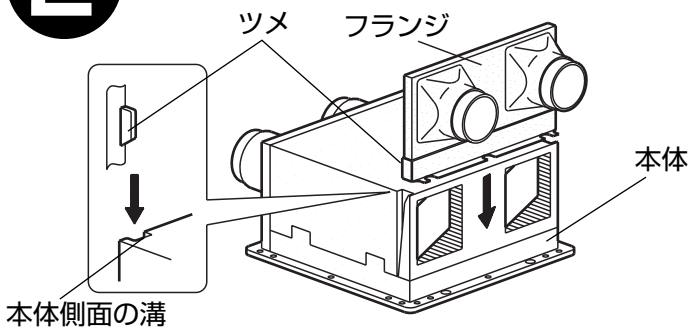
●図のように斜線部分（上･下･右側）に切り込みを入れ てください。（左側を切ると風量調節板として使用できません）

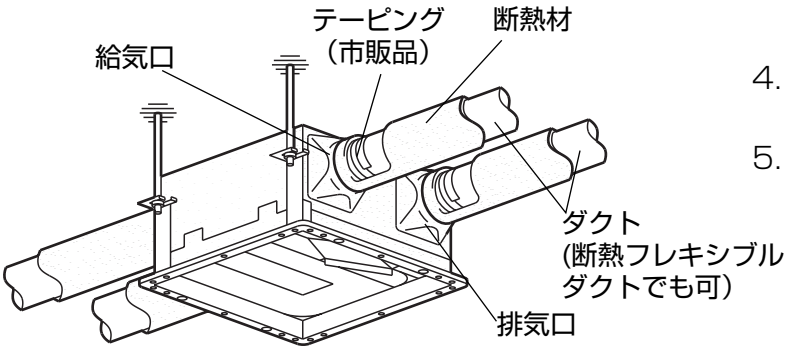
2. 各風量調節板を内側に押し込み、段階固定可能な状態にする。

取付方法　つづき

❷ フランジを取付ける

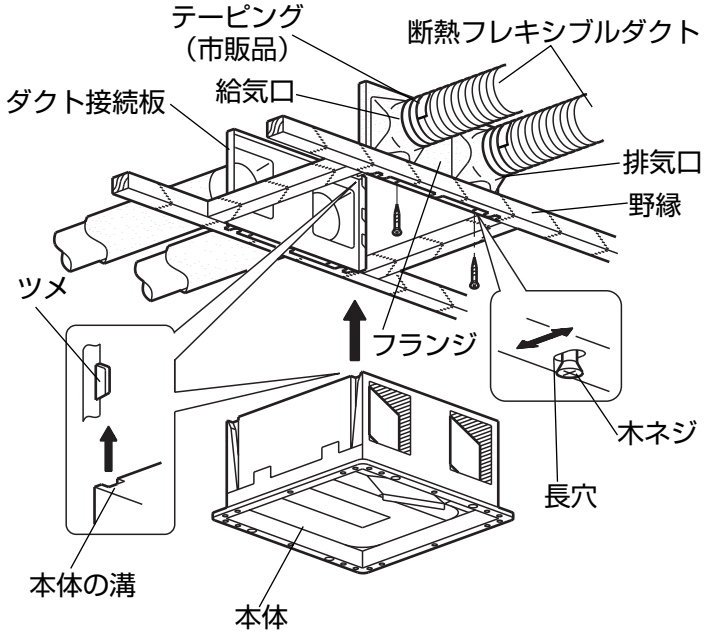
※取付方法により手順が異なります。

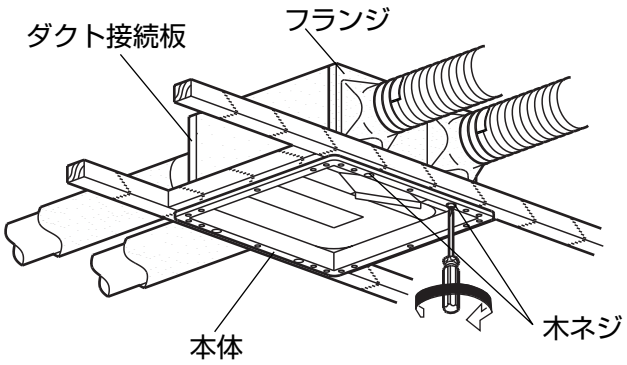




吊りボルトで吊り下げる場合

1. フランジの両端のツメを本体側面の溝に差し込み、フランジを本体に固定する。
2. 本体に同梱の据付説明書に従い本体を取付ける。
3. ダクトをフランジの給気口および排気口に各々接続する。
   (断熱フレキシブルダクトでも可)
4. ダクトとフランジの給気口および排気口のすき間を各々テーピング（市販テープ）する。
5. ダクトに断熱処理をする。





野縁に取付ける場合

1. 本体に同梱の据付説明書に従いダクト接続板を取付ける。
2. 付属の木ネジ（2本）でフランジを野縁に仮固定する。

お願い

●木ネジはフランジが長穴に沿ってスライドできるようゆるく締めてください。

3. 断熱フレキシブルダクトをフランジの給気口および排気口に接続する。
4. 断熱フレキシブルダクトとフランジの給気口および排気口のすき間をテーピング(市販テープ)する。
5. 本体に同梱の据付説明書に従い本体を取付ける。

お願い

●本体取付け時、本体の溝とフランジおよび本体付属のダクト接続板のツメのピッチが合わない場合はフランジの位置を調整して確実にはめ込んでください。

6. 本体取付け後、仮止めしてあるフランジの木ネジ（2本）を締め固定する。

使用方法

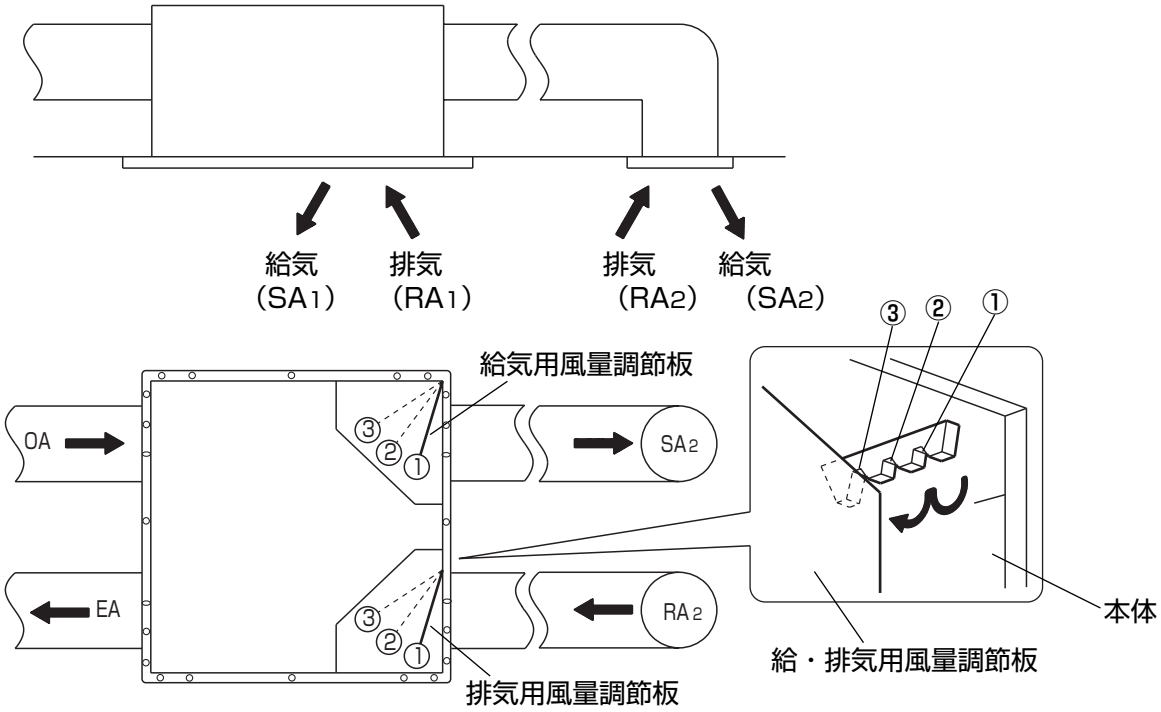
風量調節板位置	給気風量比率			排気風量比率		
	本体側 (SA_1)	:	セパレート側 (SA_2)	本体側 (RA_1)	:	セパレート側 (RA_2)
①	4	:	1	4	:	1
②	2	:	1	2	:	1
③	1	:	1	1	:	1

給排気の風量比率を設定する

●各風量調節板の位置により、給気および排気の風量比率を下図の3段階で調節する。

お願い

●配管などにより風量比率が表示と異なる場合があります。



三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。